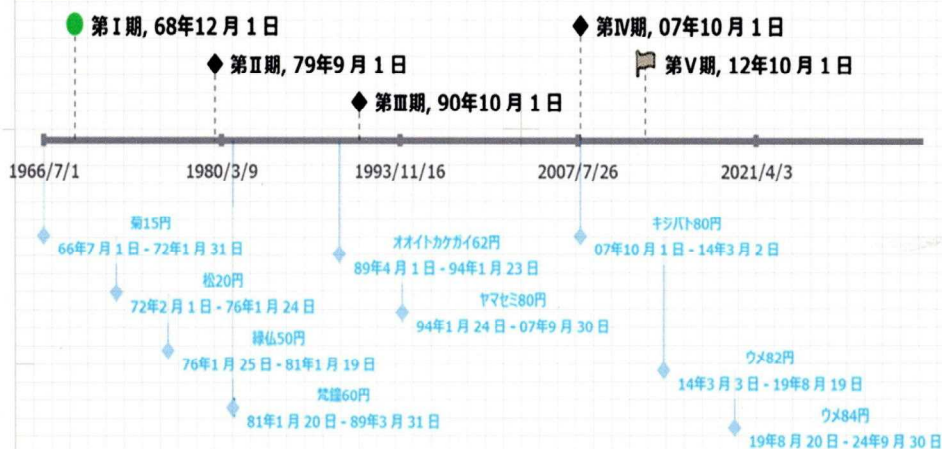


和欧文機械日付印

矢羽田 教昭

- 外国郵便物の増加に伴い、国内、国外両郵便物の処理を目的に導入された。局名は和文とローマ字両方で表記されている。
- ただし、実際の運用を見てみると、**外国郵便に用いられた例は相対的に少ない。**
- 第Ⅱ期の切替期に第Ⅰ期の日付順誤用が4局がある。
- 第Ⅱ期にはM6と呼ばれるタイプの試行局3局がある。

[和欧文印の変遷と対応切手]



第Ⅰ期大分



第Ⅱ期M6 蕨

タイプ		使用開始～使用終了		
第Ⅰ期 (国名入り)		1968 (S43).12.1～1979 (S54.8.31)		
第Ⅱ期 (元号入り)		1979 (S54).9.1～1990 (H2.9.30)		
第Ⅲ期 (丸型)		1990 (H2).10.1～2007 (H19.9.30)		
第Ⅳ期 (事業会社支店)		2007 (H19).10.1～2012 (H24.9.30)		
第Ⅴ期 (新郵便局)		2012 (H24).10.1～現在		

タイプ	形状	主な特徴	使用局数 (推定)	稀少局
第Ⅰ期		D欄県名 E欄JAPAN	173局	大分, 伏見, 福島, 大垣, 鳥取, 葛飾新宿
第Ⅱ期		D欄元号 E欄県名	276局	M6型 麹町, 横浜港, 蕨
第Ⅲ期		D欄元号 E欄空欄	419局	2000年 年賀
第Ⅳ期	同上	同上	369局	大村
第Ⅴ期	同上	同上	未確認	

※ 第Ⅱ期のM6型とはモリコー製作所の試行印で1984年春から約2年間使用された。
日付の字体が丸み帯びており, 1にセリフがある。

※ 第Ⅲ期の2000年に年賀特別郵便専用印として時刻欄に「年賀」の活字を入れて使用した。

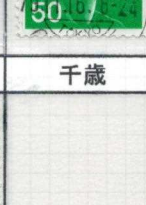
和欧文機械印 (JAPAN)

No.1

						
東京中央	新宿	西新宿	西新宿	西新宿	西新宿	西新宿
						
下谷	小石川(B)	本郷	王子(C)	荒川	足立西	葛飾(B)
						
葛飾新宿(C)	本所	江戸川	深川(B)	城東	品川	荏原
						
大森	蒲田	千鳥(B)	渋谷	目黒	世田谷	千歳
						
牛込	新宿	中野	杉並南	豊島	板橋北	練馬
						
石神井(B)	武蔵野(C)	三鷹(C)	調布	立川	八王子(B)	町田

和欧文機械印 (元号入り)

No.1

						
東京中央	神田	麹町(C)	日本橋	京橋	芝	赤坂
						
高輪	下谷	小石川	本郷	王子(Ba)	赤羽	荒川(Bb)
						
足立(Bb)	足立北(Ba)	足立西	葛飾	葛飾新宿(Ba)	本所	向島(Ba)
						
江戸川	小岩(Ba)	深川	城東	品川	荏原	大森(Ba)
						
蒲田(Ba)	千鳥	渋谷	目黒	世田谷	千歳	玉川(Ba)
						
新宿	牛込	中野	荻窪(Bb)	杉並南(Bb)	新宿北(C)	豊島

和欧文機械印 (丸型)

No.1

東京管内						
	東京中央	神田	日本橋	京橋(B)	銀座(B)	芝(B)
						
麻布	赤坂	高輪	下谷(C)	東京・上野	浅草	小石川
						
本郷	王子	赤羽(B)	荒川	足立	足立北	足立西
						
葛飾	葛飾新宿	本所	向島	江戸川	小岩	深川(C)
						
東京・深川(B)	城東(B)	新東京	品川	荏原	大森	蒲田
						
千鳥	渋谷	代々木	目黒	世田谷	千歳(C)	東京・千歳

和欧文機械印 (丸型・事業会社支店)

No.1

東京管内						
	丸の内	神田	日本橋	銀座	晴海	麻布
赤坂	高輪	東京・上野	浅草	小石川	本郷	王子
荒川	足立	足立北	足立西	葛飾	葛飾新宿	本所
向島	江戸川	小岩	新東京	品川	荏原	大森
蒲田	千鳥	渋谷	目黒	世田谷	東京・千歳	成城
玉川	東京・落合	牛込	新宿	中野	中野北	杉並